

こうふ未来創り重点戦略プロジェクト NEXT【2022年度版】事業等の実施状況一覧

【到達状況】 A：目標どおり・目標を上回る（100%以上） B：概ね目標どおり（80%以上100%未満） C：やや下回る（70%以上80%未満） D：未達成（50%以上70%未満） E：著しく未達成・未着手（50%未満）
 ※コロナの影響により予定どおり事業が実施できなかった、またはコロナによる社会変化が事業の成果に大きく影響を与えている場合は「適正な評価不能」としている。

元気スタイル	取組の方向性	番号	事業名	部	課	到達状況評価	備考
元気スタイル1 「子ども輝くまち」を創る	1 くらと学びの応援創り	1	子ども未来応援条例の制定と子育ての推進	子ども未来部	子ども応援課	A	
		2	子ども応援センターを核としたネットワークの構築	子ども未来部	子ども応援課	B	
		3	時代に即した学習の支援	教育部	学校教育課 学事課	A	
		4	学校環境の向上	教育部	教育施設課	B	
	2 たくまし創り	5	子ども運動遊びを推進するプレイリーダーの養成	子ども未来部	子ども応援課	A	
		6	子ども運動遊び場の提供	子ども未来部	子ども応援課	A	
		7	遊亀公園及び附属動物園の整備	まちづくり部	公園緑地課	A	
		8	子ども・若者の意見表明の場創出	子ども未来部	子ども応援課	A	
元気スタイル2 「健康といきいきのまち」を創る	1 健康の好循環創り	9	健康支援センターの拠点機能の発揮	福祉保健部	地域保健課	コロナにより適正な評価不能	※「おいし食・楽しく・元気塾」「シニア世代のためのいきいき教室」及び「歯つらつ・歯っぴーキャラバン」によるフレイル予防の取組や、結核患者対策に係るDOTS支援については計画通りに実施できたが、「あなたの地区の出張保健室」における健康教育については、昨年より実績は増えているものの、新型コロナウイルス感染症の第5波第6波に見舞われ、企画していた事業の中止が相次ぎ、また、その他の健康教育の回数を増やすことも難しかったことから、当初の目標値に対しては適正な評価を行えないため、コロナにより適正な評価不能とする。
		10	健康都市こうふの推進	福祉保健部	健康政策課	A	
		11	緑が丘スポーツ公園の再整備	まちづくり部	公園緑地課	A	
	2 いきいきとぎざ創り	12	地域・職域連携の推進	福祉保健部	地域保健課	コロナにより適正な評価不能	※コロナ禍による感染拡大を懸念する事業者が多く、当初の目標値に対しては適正な評価を行えないため、コロナにより適正な評価不能とする。
		13	いきがいインフォメーションの推進	教育部	生涯学習課	A	
		14	地域で支え合う福祉サービスの創設	福祉保健部	健康政策課	コロナにより適正な評価不能	※2022年度は、前年度以前と比べて新型コロナウイルス感染者数がさらに増加したため、地域における協議体の開催や通いの場の構築が困難となり、当初の目標値に対しては適正な評価を行えないため、コロナにより適正な評価不能とする。
元気スタイル3 「女性活きいきのまち」を創る	1 活躍創り	15	防災リーダー等の育成	市長直轄組織	防災企画課	A	
		16	「日本女性会議2021 in甲府」後の女性活躍の推進	市民部	人権男女参画課	A	
		17	女性たちで創るマルシェの実施	市民部	人権男女参画課	A	
	2 ライフ・デザイン創り	18	「こうふまちづくりラウンジ」の実施	市民部	人権男女参画課	A	
		19	女性活躍等に係る提案支援	市民部	人権男女参画課	コロナにより適正な評価不能	※コロナにより、事業を企画・実施することを躊躇する団体もあり、今年度も1件の応募に留まった。当初の目標値に対しては適正な評価を行えないため、コロナにより適正な評価不能とする。
元気スタイル4 「潤いと活力あるまち」を創る	1 地域産業・未来産業創り	20	女性の就業・起業の応援	市民部	人権男女参画課	A	
		21	キャッシュレス化の推進	産業部	商工課	A	
		22	販路開拓の支援	産業部	商工課	B	
		23	観光客の誘客促進	産業部	観光課	コロナにより適正な評価不能	※依然として新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けており、当初の目標値に対しては適正な評価を行えないため、コロナにより適正な評価不能とする。 ※感染状況を見極めつつ誘客促進に取り組み、観光入込客数は、前年比約30%増となった。訪日外国人宿泊者数は水際対策の緩和もあり、前年比で200%以上の増となった。
		24	新産業・未来産業の立地促進	まちづくり部	産業立地課	B	
	2 未来へと続く住みよい暮らし創り	25	農業振興の推進	産業部	就農支援課	A	
		26	リニア新時代を見据えた都市環境の創出	まちづくり部	リニア政策課 都市計画課	コロナにより適正な評価不能	※まちづくりプロジェクトは目標値を概ね達成できているものの、まちづくり研究会等については、コロナの影響により、研究会等の実施が困難であったため、「コロナにより適正な評価不能」としている。
		27	都市計画道路の整備	まちづくり部	都市計画課 都市整備課	A	
		28	持続可能な地域公共交通ネットワークの形成	まちづくり部	交通政策課	コロナにより適正な評価不能	※前年度と比較し、利用者が回復傾向にあるものの、引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けているため、コロナにより適正な評価不能とする。 ※バス、タクシーなどの事業継続を支援し、コロナ禍における市民の日常を支える公共交通機関の維持に取り組んだ。
		29	防災拠点の整備	市長直轄組織 消防本部	防災企画課	A	
		30	地域防災力の強化推進	市長直轄組織	地域防災課	コロナにより適正な評価不能	※感染症への対策をはじめ、水害避難の地区研修会等を工夫して実施してきたが、特に大きく感染が拡大した第8波の影響も踏まえる中で、対象地区の自治会との調整に努めたものの、当初予定していたアフターフォローの実施が困難であったことから、コロナにより適正な評価不能とする。
31	地球温暖化対策の普及促進	環境部	環境保全課 ごみ減量課	コロナにより適正な評価不能	※感染の波が落ち着いている時期等を見定め、上半期においては学校等の理解や協力を得る中で普及啓発活動を行ったが、下半期においては感染が大きく拡大した第7波及び第8波の影響により、学校行事等の中止が相次ぎ、当初予定していた環境教育の実施が困難であったことから、コロナにより適正な評価不能とする。		

元気スタイル	取組の方向性	番号	事業名	部	課	到達状況 評価	備考
元気スタイル5 「故郷が好きなまち」を創る	1 「こふ愛」創り	32	故郷こふの学びの推進	市長直轄組織	情報発信課	A	
		33	「甲府市の歌」の普及	市長直轄組織	情報発信課	コロナにより適正な評価不能	※2021年度以前を大幅に上回る感染拡大となった、第7波及び第8波の影響により、子ども達の学びの場が失われ、歌う機会の創出が困難な状況であったことから、コロナにより適正な評価不能とする。
		34	新たなプロモーション発信ツールの創造	市長直轄組織	情報発信課	A	
	2 新たな宝創り	35	歴史を感じられる甲府城エリアの整備	まちづくり部	都市計画課	B	
		36	史跡等を巡る「散策ルート」の創出	教育部	歴史文化財課	A	
		37	「ドリームキャンパス」の推進	市長直轄組織	情報発信課	A	
		38	甲州人の活躍や歴史などを伝える「語り部こふ」の創出	教育部	歴史文化財課	B	
元気スタイル6 「世界がつながるまち」を創る	1 グローバルな人材創り	39	地域国際交流の推進	市長直轄組織	国際交流課	A	
		40	国際教育の推進	市長直轄組織	国際交流課	B	
	2 海外活力による賑わい創り	41	東京2020オリンピック事前合宿とホストタウン交流の推進	市長直轄組織	国際交流課	A	
		42	外国人留学生の応援	市長直轄組織	国際交流課	A	
		43	外国人を対象とした就業機会の創出	産業部	雇用創生課	コロナにより適正な評価不能	※求職者のコースに対応した企業募集に努め、開催曜日を土曜日に変更するなど、外国人の就業機会の創出に向けて工夫して取り組んだが、入国制限の緩和はあったものの、第7波及び第8波の影響により、多くの外国人に参加していただくことは困難であったことから、コロナにより適正な評価不能とする。
元気スタイル7 「タフで優しい市役所」を創る	1 成長する人材と組織創り	44	民間企業などの職務経験者等の活用	行政経営部	職員課	A	
		45	先進都市派遣研修等を活用した自律型人材の育成	行政経営部	研修厚生課	A	
		46	キャリア・スキル（実績・実力）重視の人事制度	行政経営部	職員課	B	
		47	執行体制の最適化の推進	行政経営部	行政経営課	A	
	2 協働して未来に進む市政創り	48	市民活動の支援と応援	市民部	協働支援課	B	
		49	データの活用方法の確立	行政経営部	デジタル推進課	B	
		50	行財政の改革と更なる財政健全化	行政経営部 企画財務部	行政経営課 財産活用課 企画財政課	B	
51		DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進	行政経営部	デジタル推進課	B		